

経営比較分析表（令和6年度決算）

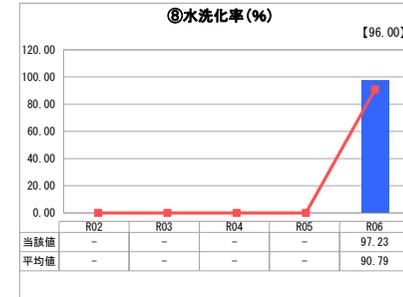
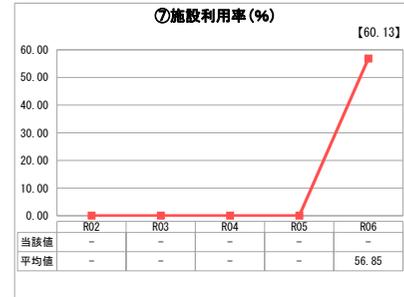
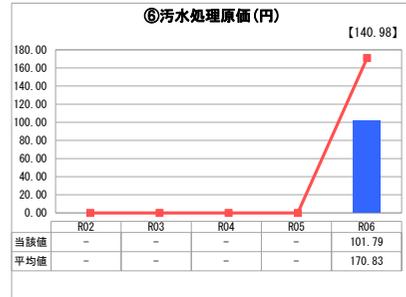
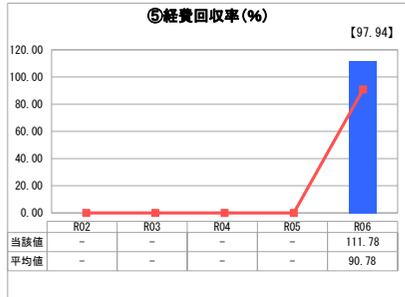
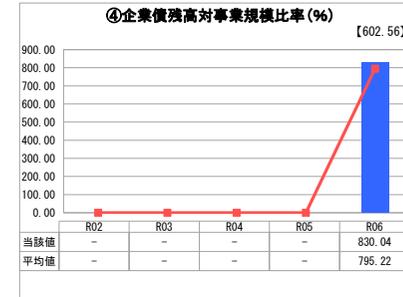
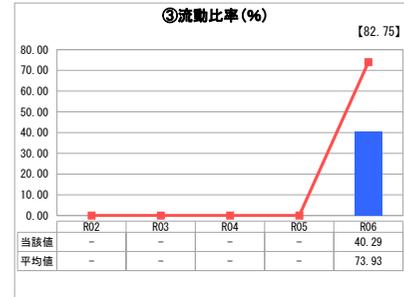
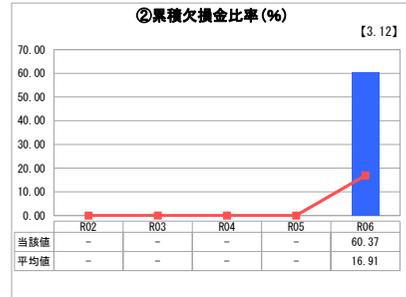
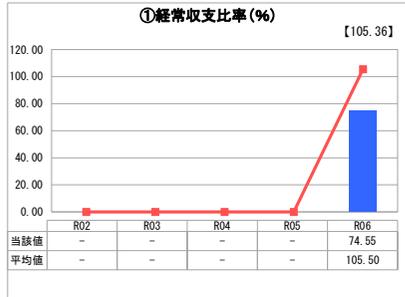
神奈川県 松田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	71.18	86.84	87.59	1,723

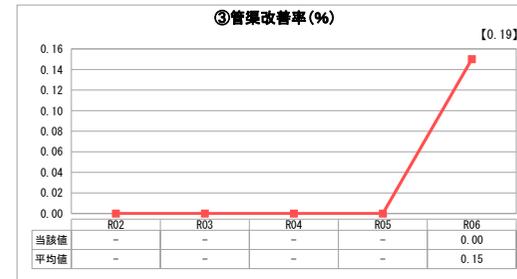
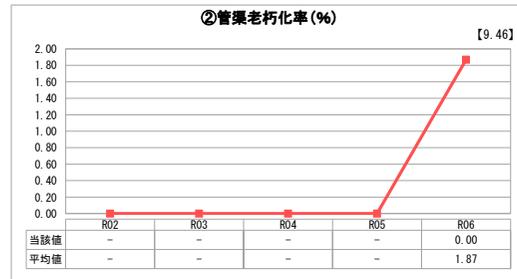
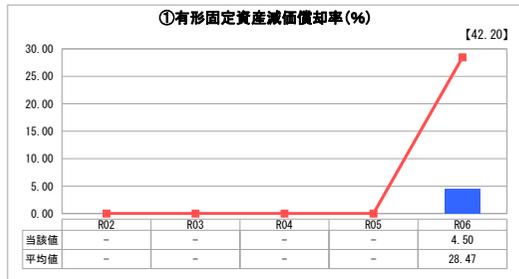
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,419	37.75	276.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,004	1.98	4,547.47

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度より地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行したため、令和5年度以前の数値は比較表示されていません。

①経常収支比率が100%を大きく下回っているのは、公営企業会計化に伴い、使用料収入で賄えない部分を一般会計からの繰入金ではなく、長期貸付金の借入として整理したことによるものです。今後は使用料等による適正な収入が確保されるよう、早急に経営の改善を図る必要があります。

②累積欠損金比率や③流動比率の数値の問題点は、公営企業会計化のタイミングで留保資金となる現預金がないまま移行したことによるものであり、適正な使用料設定がなされれば、徐々にではありますが改善が見込まれます。

そのほかの指標については、類似団体平均値と比較しても明確な課題は見ませんが、財政的な経営改善と併せて、向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

当町は流域関連公共下水道のため、管理する施設は管路が中心です。当初の供用開始から40年近くが経過しており、耐用年数には達しないものの更新のための検討を始める時期であり、計画的な事業推進のためにも、事前の点検調査等を実施していく必要があります。

全体総括

公営企業会計化に伴い、資金収支や将来見通しなどに関する問題点が一気に顕在化することとなりましたが、これを契機に、使用料の適正化が急務であることが確認されました。

今後、流域下水道に関する費用や町管理の管路の更新費用など、増加が見込まれることもあり、経営の健全化に向けて抜本的に経営基盤の強化を図ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。